

令和 3 年

消防統計

火 災 統 計

救 急 統 計

救 助 統 計

大崎地域広域行政事務組合

消防本部

目 次

第1章 火災統計

1	大崎管内における火災概要	1
	火災件数	1
	火災種別ごとの火災件数	2
	月別の火災件数	2
2	死傷者等の発生状況	3
3	損害額・出火率	4
4	出火原因	5

第2章 救急統計

1	大崎管内における救急業務の実施状況	6
2	事故種別出動件数及び搬送人員状況	6
3	救急隊別出動状況	7
4	市町別出動状況	8
5	傷病程度別、年齢別搬送人員状況	8
6	月別救急出動状況	9
7	収容先別搬送人員状況	10
8	ドクターヘリ要請件数状況	10
9	救急隊員の行った救急処置状況	11
10	PA連携出動状況	12

第3章 応急手当講習会等の概要

1	講習会の開催状況	13
2	性別・年齢別受講者状況	14
3	講習会開催の推移	15
4	講習会の効果	16

第4章 救助統計

1	救助業務の概況	17
2	救助人員の傷病程度	18
3	救助事案発生場所	18

第1章 火災統計

1 大崎管内における火災概要

火災件数

令和3年中における総火災件数は49件で前年より9件減少し、約7.4日に1件の割合で発生したことになります。

また、市町別の火災件数は、大崎市26件(53.1%)、色麻町2件(4.1%)、加美町12件(24.5%)、涌谷町6件(12.2%)、美里町3件(6.1%)となっています。(表1・表2)

過去10年間の火災件数を比較すると、過去最少の件数となります。(図1)

表1 市町別火災件数

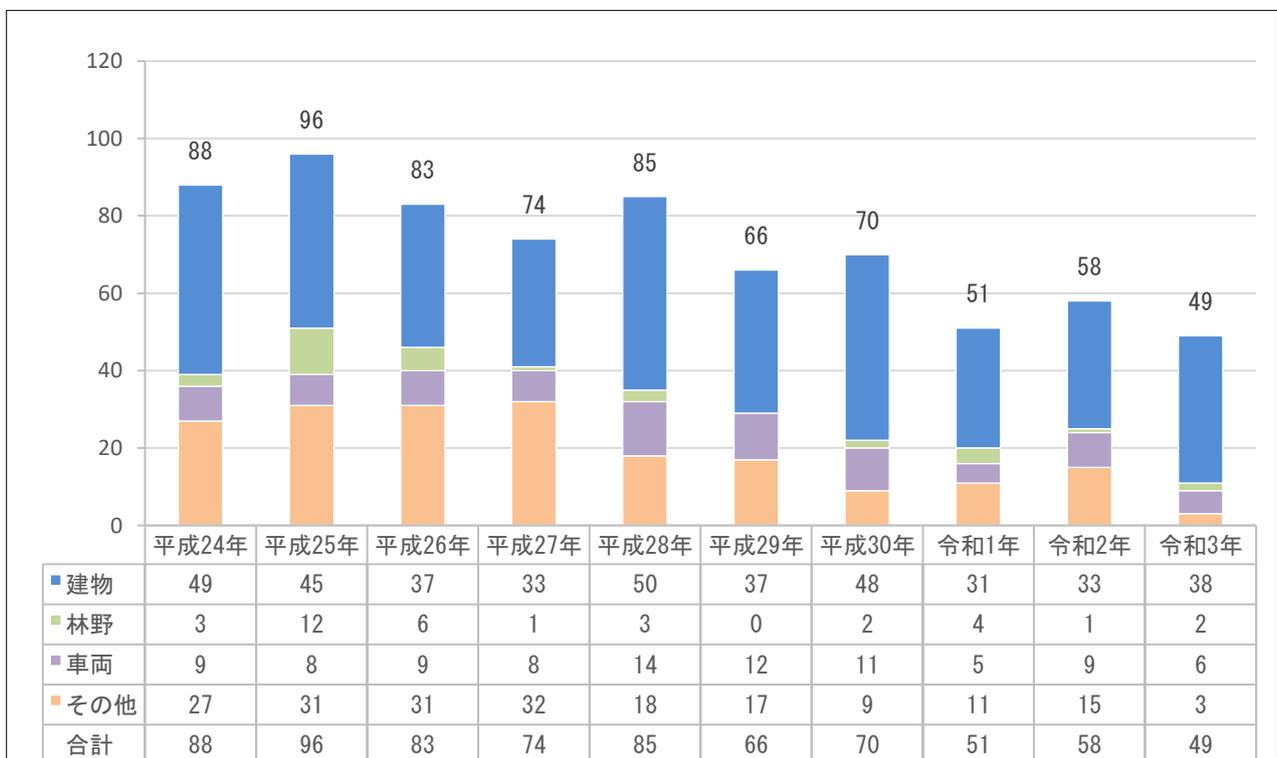
	大崎市	色麻町	加美町	涌谷町	美里町	計
令和3年	26	2	12	6	3	49
令和2年	37	3	11	3	4	58
比較	▲ 11	▲ 1	1	3	▲ 1	▲ 9

表2 市町別火災総括表

	火 災 件 数					焼 損 棟 数	り 災		死 者	負 傷 者	世 帯 数	人 口
	合計	建物	林野	車両	その他		世 帯	人 員				
大崎市	26	17	2	5	2	30	18	32	1	8	52,349	126,836
色麻町	2	2	0	0	0	4	2	11	0	4	2,080	6,523
加美町	12	12	0	0	0	25	11	47	2	4	8,170	22,115
涌谷町	6	5	0	1	0	5	2	9	0	0	5,963	15,182
美里町	3	2	0	0	1	6	5	17	0	1	9,243	23,845
大崎圏全体	49	38	2	6	3	70	38	116	3	17	77,805	194,501

※世帯数・人口は令和3年12月月末現在（宮城県住民基本台帳より）

図1 過去10年の火災件数及び火災種別の推移

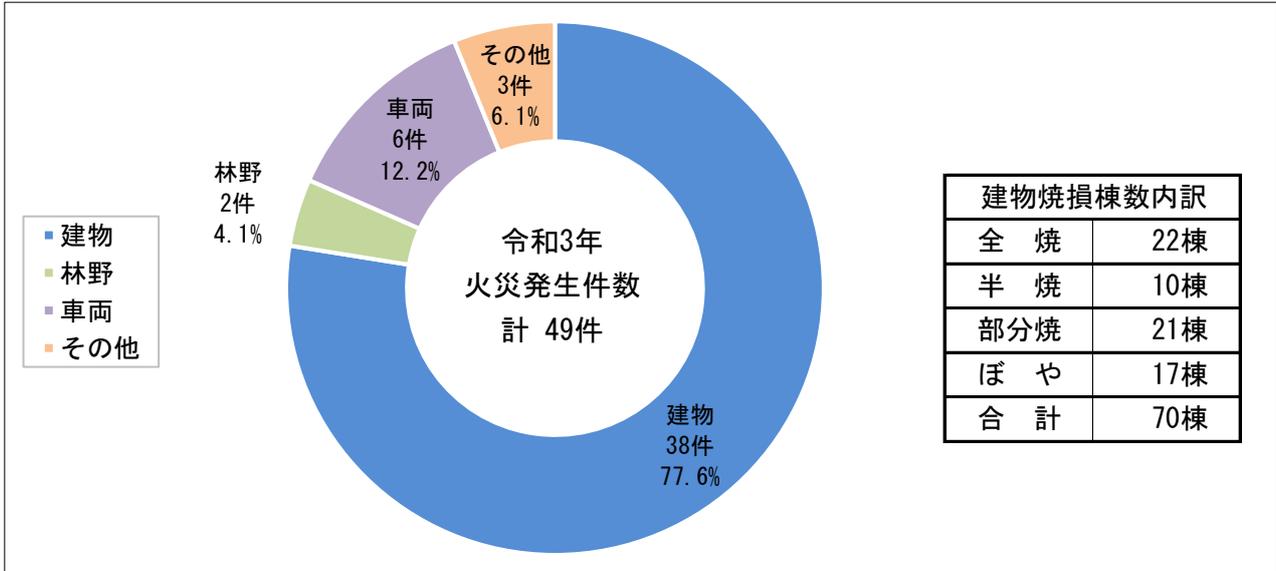


火災種別ごとの火災件数

火災種別ごとの火災件数は、建物火災が38件(77.6%)で前年より5件増加、林野火災が2件(4.1%)で1件増加、車両火災が6件(12.2%)で3件減少、その他火災が3件(6.1%)で12件減少となっています。

(図1・図2)

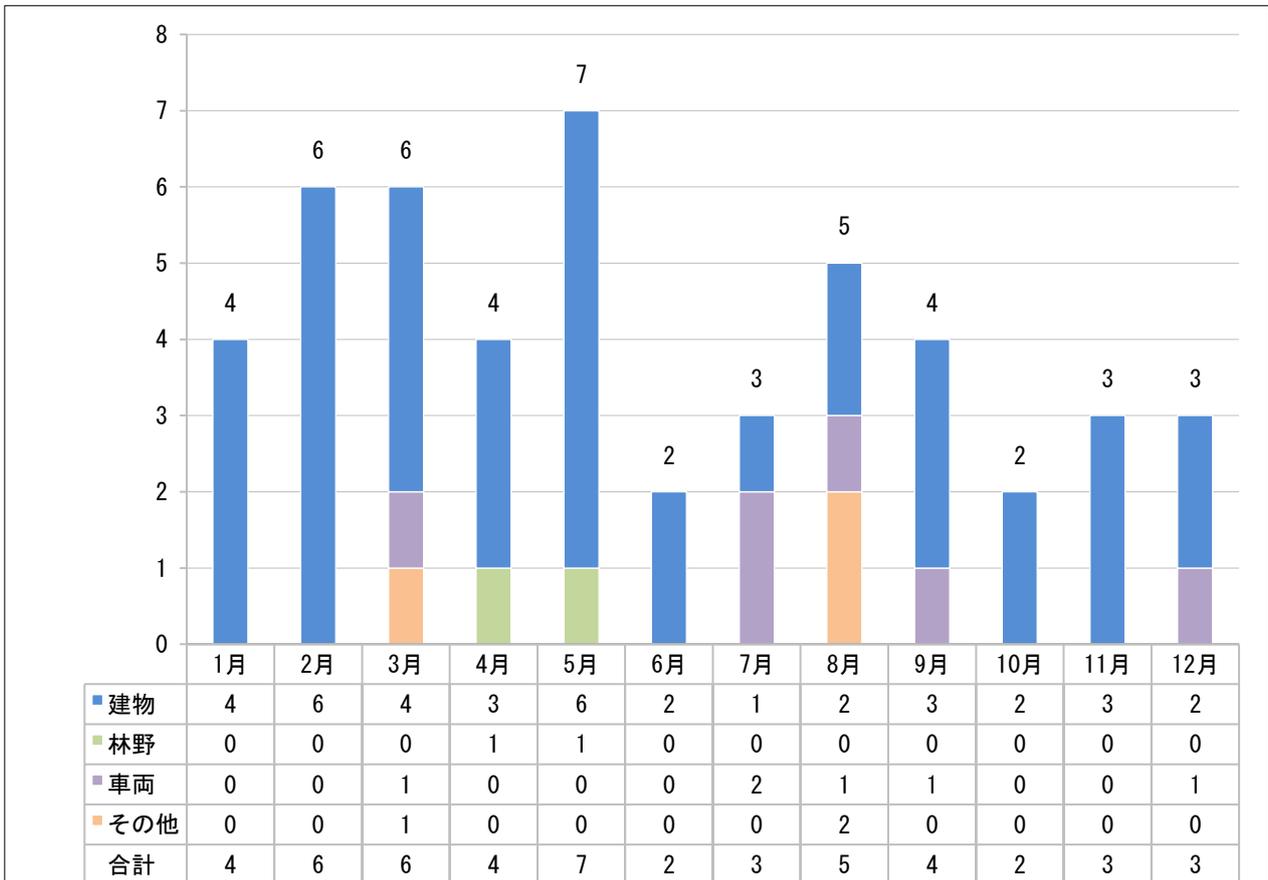
図2 火災発生状況



月別の火災件数

月別の火災件数は、5月に7件の火災が発生し全体の14.3%を占め、うち建物火災が6件発生しています。(図3)

図3 月別火災発生状況



2 死傷者等の発生状況

火災による死者数は3人で、前年より2人減少しています。火災種別ごとの死者数は、建物火災が2人、車両火災が1人となっています。

火災による負傷者は17人で、前年より9人増加しています。火災種別ごとの負傷者数は、建物火災が14人、車両火災が2人、その他火災が1人となっています。（図4・図5）

図4 火災種別別死傷者発生状況

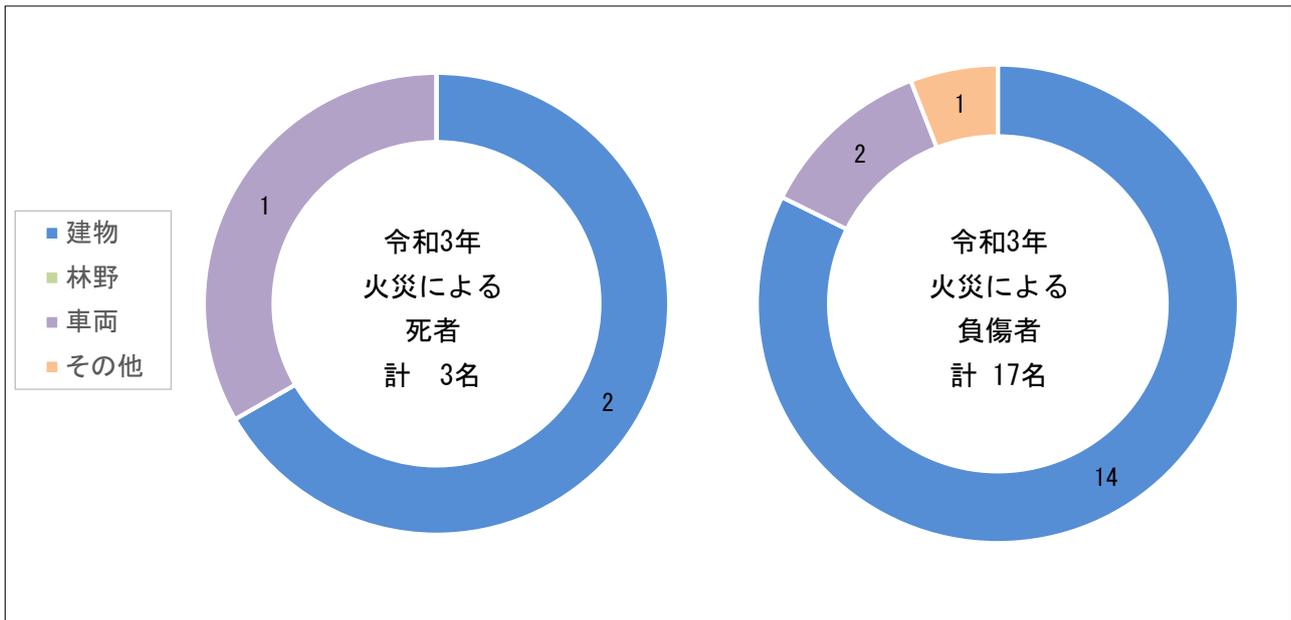
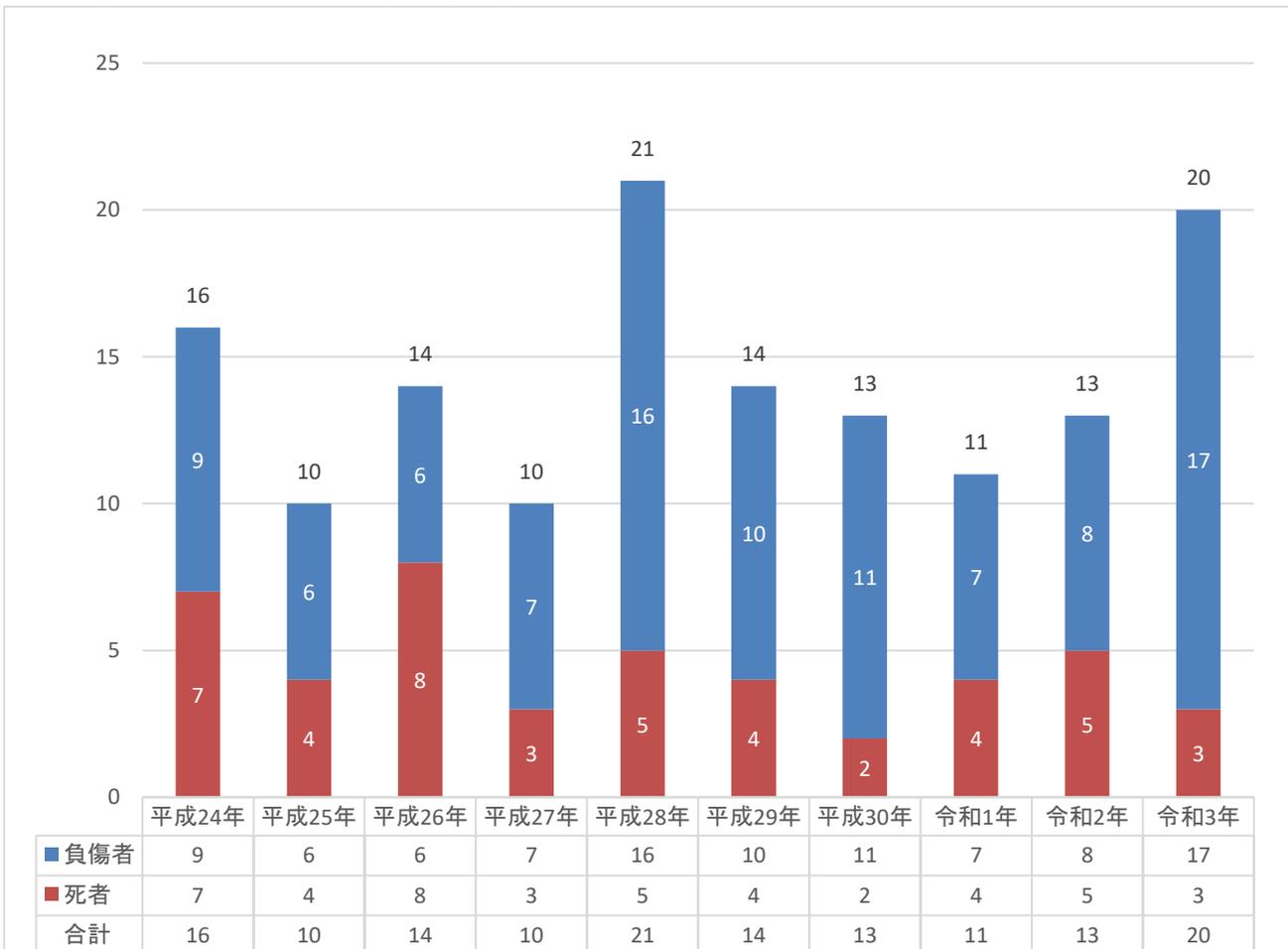


図5 過去10年間の火災による死傷者発生状況



3 損害額・出火率

火災による損害額は162,764千円で前年より97,987千円減少しました。

火災種別ごとの損害額は、建物火災が152,067千円、林野火災が5千円、車両火災が2,307千円、その他火災が8,385千円となっています。

火災1件当たりの損害額は3,322千円で、一世帯当たりの損害額は2,092円、住民一人あたりでは837円となっています。

出火率をみると、大崎圏全体は2.52件/万人で、前年の2.94件/万人と比較すると0.42件/万人減少しています。

市町別にみると、加美町が5.43件/万人と最も高く、次いで涌谷町が3.95件/万人、色麻町が3.07件/万人、大崎市が2.05件/万人、美里町が1.26件/万人となっています。（表3・表4・図6）

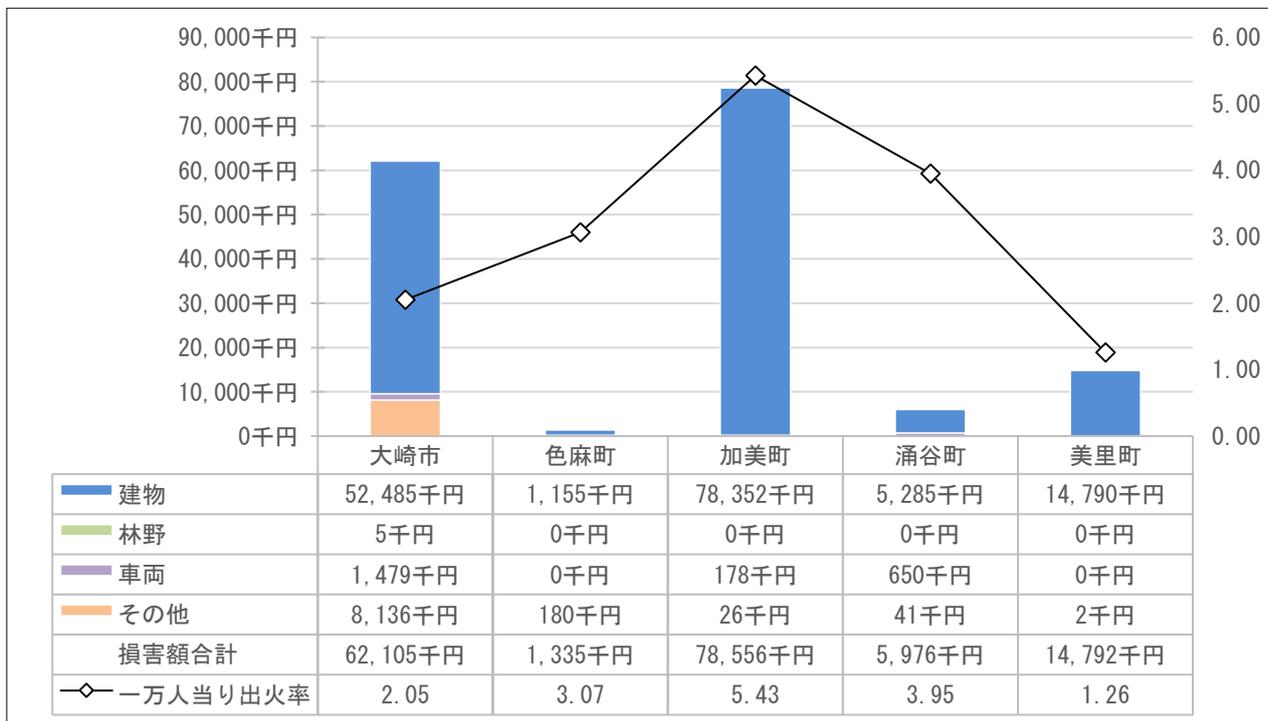
表3 火災種別損害額

	建物火災	林野火災	車両火災	その他火災	計
令和3年	152,067千円	5千円	2,307千円	8,385千円	162,764千円
令和2年	225,976千円	64千円	7,837千円	26,874千円	260,751千円
比較	▲ 73,909千円	▲ 59千円	▲ 5,530千円	▲ 18,489千円	▲ 97,987千円

表4 市町別損害額及び出火率

	一万人 当り 出火率 (件/万人)	損 害 額				焼 損 面 積		
		総額 (千円)	1件当たり (千円)	一世帯 当たり (円)	一人 当たり (円)	建物 面積 (㎡)	1件 当たり (㎡)	林野 面積 (a)
大崎市	2.05	62,105	2,389	1,186	490	1,563	91.9	7
色麻町	3.07	1,335	668	642	205	104	52.0	0
加美町	5.43	78,556	6,546	9,615	3,552	1,291	107.6	0
涌谷町	3.95	5,976	996	1,002	394	203	40.6	0
美里町	1.26	14,792	4,931	1,600	620	453	226.5	0
大崎圏全体	2.52	162,764	3,322	2,092	837	3,614	95.1	7

図6 市町別損害額及び出火率



4 出火原因

出火原因は、「たばこ」8件(16.3%)、「電灯等の配線」3件(6.1%)、「放火」3件(6.1%)、「ストーブ」2件(4.1%)、「煙突・煙道」2件(4.1%)、「電気機器」2件(4.1%)、「取灰」2件(4.1%)、「焼却炉」2件(4.1%)の順になっています。(表5)

表5 出火原因

原因	年別	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和1年	令和2年	令和3年
たばこ		5	4	6	3	5	6	8	8	2	8
こんろ		3	3	0	2	6	3	4	2	1	1
ストーブ		2	3	3	6	6	1	7	3	5	2
こたつ		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
煙突・煙道		3	2	1	2	0	1	2	2	2	2
排気管		2	2	2	0	4	4	5	1	3	0
電気機器		5	2	1	1	1	1	3	2	0	2
電灯等の配線		5	1	3	7	3	4	2	1	3	3
配線器具		1	4	2	0	3	1	2	3	2	1
火遊び		1	2	3	0	0	2	1	1	0	0
たき火		5	12	4	4	1	0	3	1	2	1
溶接・切断機		2	2	1	1	1	0	0	0	0	0
灯火		1	2	1	1	1	1	2	1	2	0
衝突の火花		1	0	1	1	0	0	1	0	0	0
取灰		1	0	0	2	0	1	1	0	2	2
火入れ		5	12	10	10	4	2	4	2	3	1
かまど		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
風呂かまど		1	3	3	1	0	0	0	0	0	1
炉		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
焼却炉		1	2	0	0	1	0	0	3	2	2
ボイラー		0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
電気装置		2	2	1	0	0	0	0	1	1	1
内燃機関		0	0	0	0	0	1	1	0	0	1
マッチ・ライター		0	0	0	2	2	3	0	1	0	0
放火		4	4	5	6	11	6	2	3	8	3
放火の疑い		6	2	7	4	5	7	9	2	3	0
その他		19	16	15	10	10	14	8	7	13	8
不明		11	15	14	11	20	8	5	6	4	10
合計		88	96	83	74	85	66	70	51	58	49

第2章 救急統計

1 大崎管内における救急業務の実施状況

救急出動件数

令和3年における救急出動件数は、9,128件(前年比706件増)で搬送人員が8,306人(前年比533人増)となっております。これは、月平均で約760.7件、一日平均で約25.0件(57.6分に1件)の割合で救急隊が出動し、管内の約23.4人に1人(約9.4世帯に1人)が救急隊により搬送されたこととなります。(表6・図7)

※大崎管内の世帯数及び人口：77,805世帯,194,501人令和3年12月末現在,宮城県住民基本台帳より)

2 事故種別出動件数及び搬送人員状況

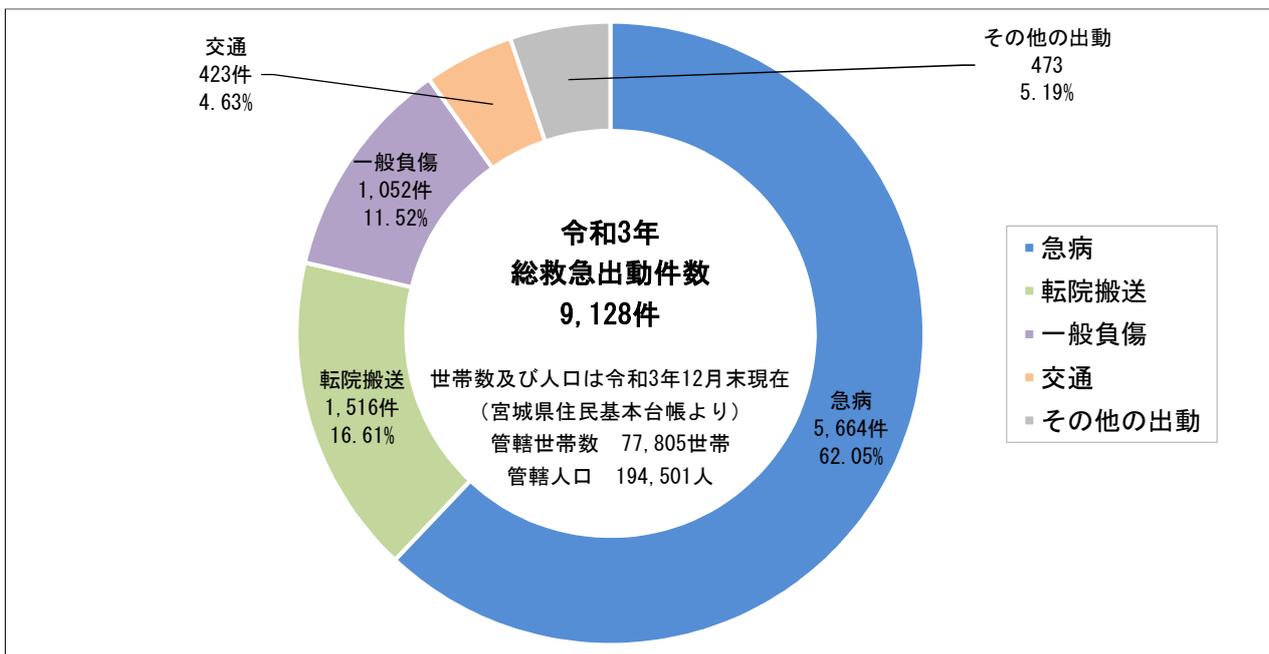
事故種別ごとの出動件数は、急病が5,664件(前年比321件増)と全出動件数の62.05%を占め、次いで転院搬送の1,516件(前年比256件増)、一般負傷の1,052件(前年比100件増)、交通の423件(前年比2件減)の順となりました。

搬送人員は、急病5,185人(前年比217人増)、転院搬送1,513人(前年比254人増)、一般負傷968人(前年比84人増)、交通416人(前年比36人減)の順となりました。(表6・図7)

表6 救急出動状況

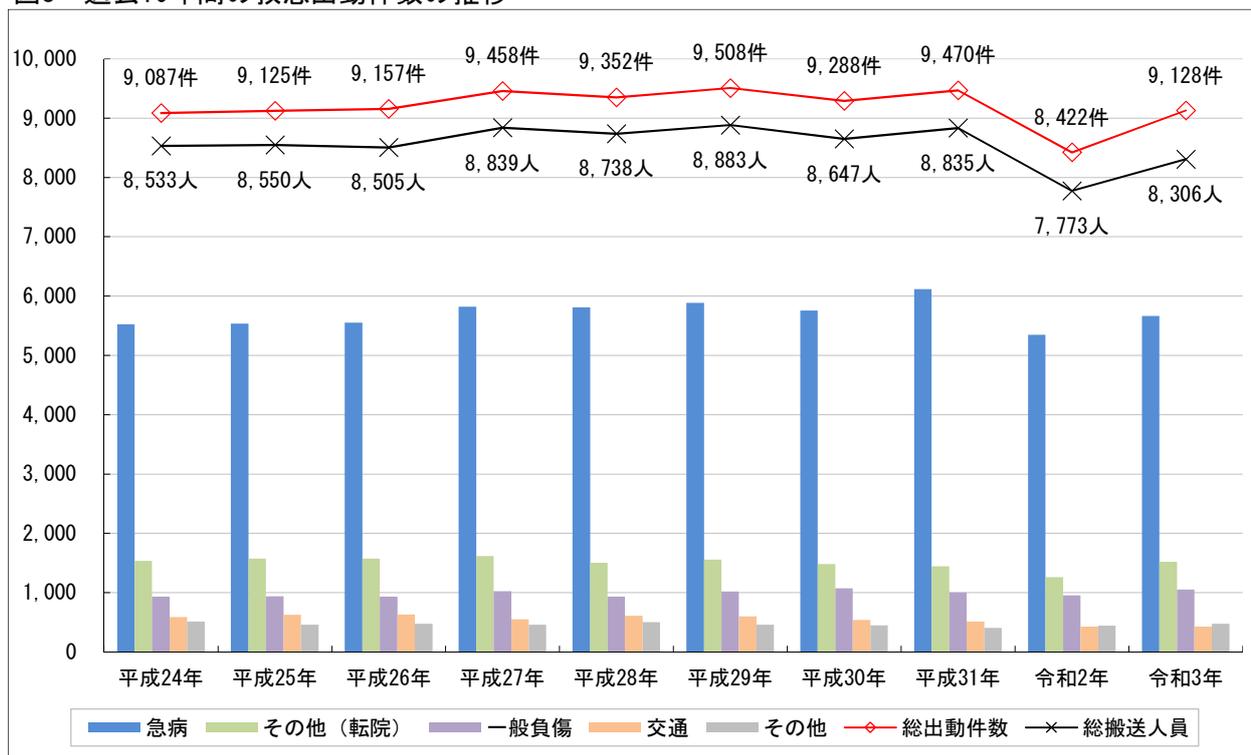
区分	年別比較	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
													転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他
出動件数	令和3年	9,128	50	6	6	423	93	44	1,052	9	86	5,664	1,516	0	23	156
	令和2年	8,422	47	1	6	425	103	33	952	23	84	5,343	1,260	0	23	122
	前年比	706	3	5	0	▲ 2	▲ 10	11	100	▲ 14	2	321	256	0	0	34
不搬送件数	令和3年	875	38	1	3	57	2	1	84	3	23	480	4	0	23	156
	令和2年	726	42	0	3	41	3	0	70	6	34	381	1	0	23	122
	前年比	149	▲ 4	1	0	16	▲ 1	1	14	▲ 3	▲ 11	99	3	0	0	34
搬送人員	令和3年	8,306	13	5	3	416	91	43	968	6	63	5,185	1,513	0	0	0
	令和2年	7,773	5	1	3	452	101	33	884	17	50	4,968	1,259	0	0	0
	前年比	533	8	4	0	▲ 36	▲ 10	10	84	▲ 11	13	217	254	0	0	0

図7 救急出動状況



過去10年間の救急出動件数を比較したものとなります。(図8)

図8 過去10年間の救急出動件数の推移



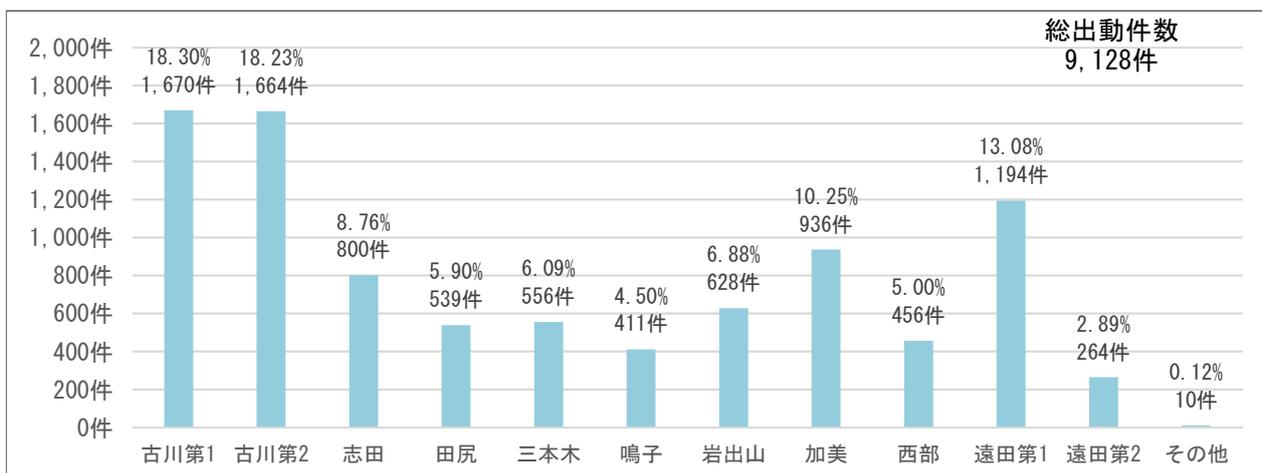
3 救急隊別出動状況

救急隊別の出動状況を前年比で見ると、古川第二救急隊が146件増、古川第一救急隊が129件増、三本木救急隊が81件増、岩出山救急隊が80件増、加美救急隊が69件増等、合計で706件増加しました。(表7・図9)

表7 救急隊別出動状況

	古川第1	古川第2	志田	田尻	三本木	鳴子	岩出山	加美	西部	遠田第1	遠田第2	その他	合計
令和3年	1,670	1,664	800	539	556	411	628	936	456	1,194	264	10	9,128
令和2年	1,541	1,518	744	524	475	367	548	867	427	1,163	245	3	8,422
比較	129	146	56	15	81	44	80	69	29	31	19	7	706

図9 救急隊別出動状況

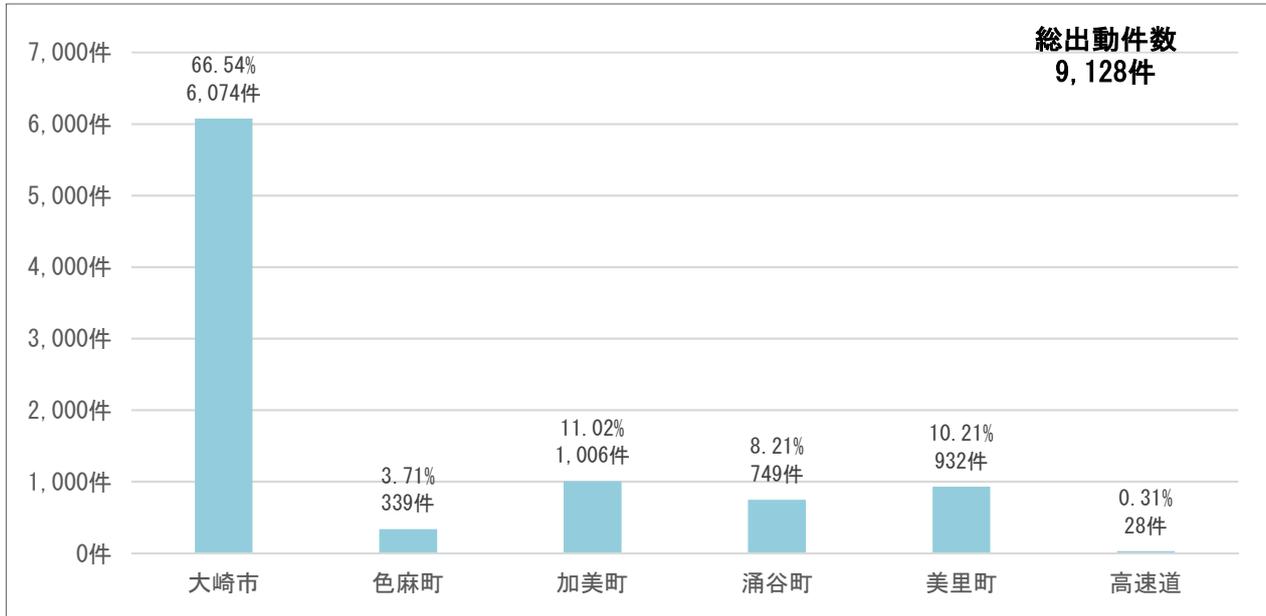


4 市町別出動状況

市町別の出動件数は、大崎市が6,074件、色麻町が339件、加美町が1,006件、涌谷町が749件、美里町が932件となりました。

また、高速道(東北自動車道)への出動は28件でした。(図10)

図10 市町別救急出動件数



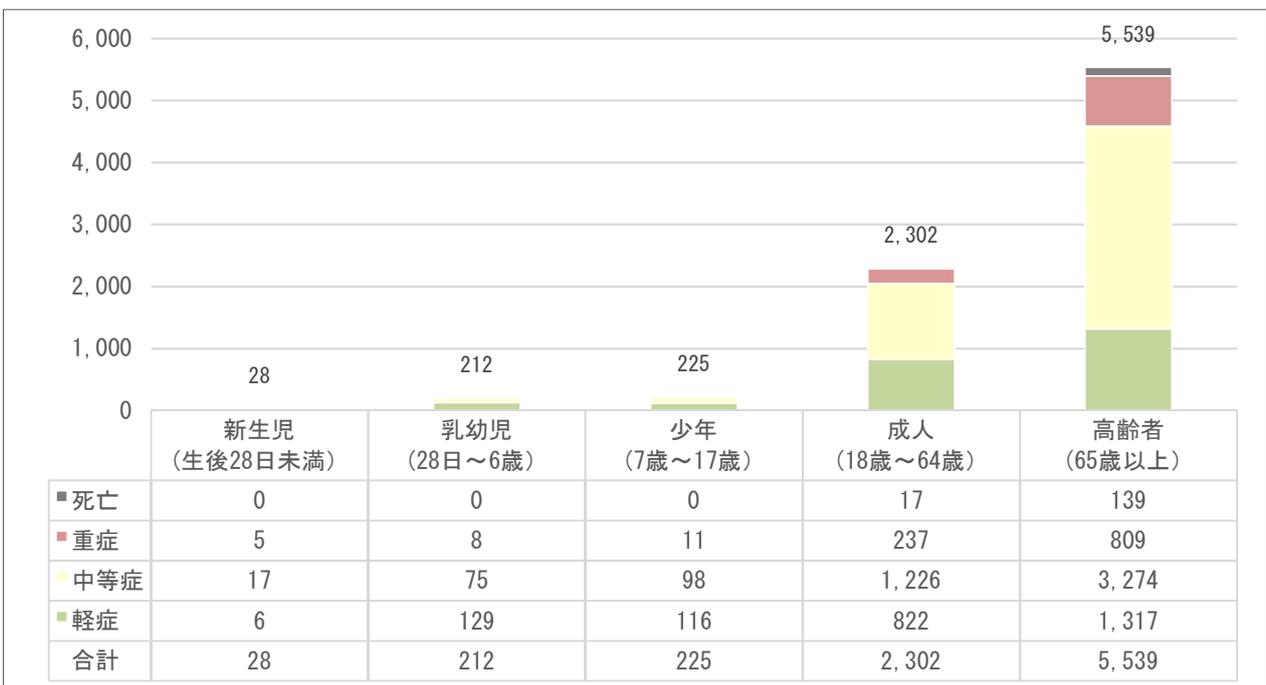
5 傷病程度別、年齢別搬送人員状況

搬送した8,306人の傷病程度は、死亡156人、重症1,070人、中等症4,690人、軽症2,390人と診断されています。

死亡、重症、中等症の傷病者の割合は全体の約71.23%、入院加療を必要としない軽症の傷病者の割合は28.77%となります。

また、年齢別では高齢者(65歳以上)が全体の約66.69%を占めました。(図11)

図11 傷病程度別・年齢別搬送人員状況



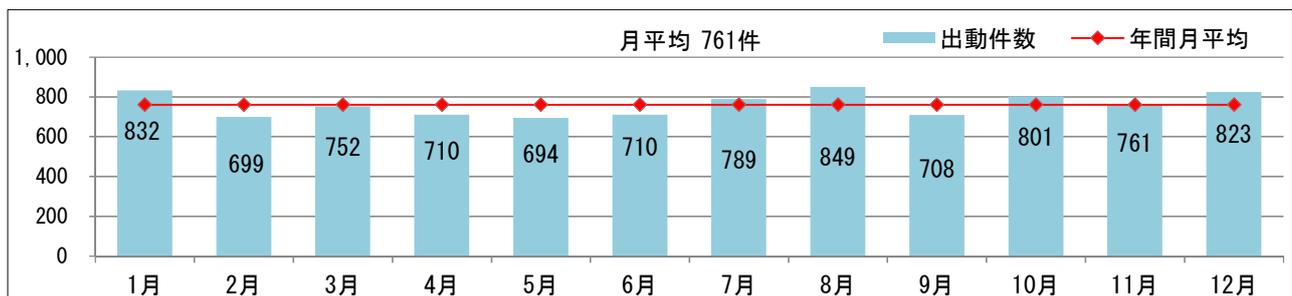
6 月別救急出動状況

救急隊の1か月の平均出動件数は約761件で、最も多い月は8月で849件、次いで1月の832件となっています。（表8・図12）

表8 月別及び事故種別毎出動・搬送等状況

月別	区分	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
													転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他
1月	出動件数	832	6	0	0	38	13	2	103	1	5	508	139	0	1	16
	搬送件数	754	2	0	0	30	13	2	96	0	4	470	137	0	0	0
	搬送人員	761	2	0	0	36	13	2	96	0	4	470	138	0	0	0
2月	出動件数	699	6	4	0	24	9	0	67	1	3	459	114	0	1	11
	搬送件数	635	3	3	0	23	9	0	64	1	3	415	114	0	0	0
	搬送人員	637	3	3	0	25	9	0	64	1	3	415	114	0	0	0
3月	出動件数	752	4	1	0	25	8	2	91	0	12	449	147	0	1	12
	搬送件数	675	0	1	0	24	8	2	83	0	9	401	147	0	0	0
	搬送人員	675	0	1	0	24	8	2	83	0	9	401	147	0	0	0
4月	出動件数	710	5	0	1	28	10	1	89	1	5	423	136	0	2	9
	搬送件数	646	2	0	1	20	10	1	79	1	4	392	136	0	0	0
	搬送人員	647	2	0	1	21	10	1	79	1	4	392	136	0	0	0
5月	出動件数	694	6	0	0	33	3	4	73	1	7	429	120	0	4	14
	搬送件数	623	0	0	0	28	3	4	70	1	5	392	120	0	0	0
	搬送人員	624	0	0	0	29	3	4	70	1	5	392	120	0	0	0
6月	出動件数	710	2	1	1	44	8	5	79	0	9	429	121	0	3	8
	搬送件数	646	0	1	0	39	8	5	68	0	5	399	121	0	0	0
	搬送人員	648	0	1	0	41	8	5	68	0	5	399	121	0	0	0
7月	出動件数	789	3	0	0	38	9	11	94	0	6	508	104	0	2	14
	搬送件数	708	1	0	0	33	8	11	82	0	4	465	104	0	0	0
	搬送人員	711	1	0	0	36	8	11	82	0	4	465	104	0	0	0
8月	出動件数	849	5	0	0	26	15	3	86	0	13	551	136	0	1	13
	搬送件数	782	2	0	0	24	15	3	85	0	11	506	136	0	0	0
	搬送人員	788	3	0	0	29	15	3	85	0	11	506	136	0	0	0
9月	出動件数	708	5	0	4	39	3	3	90	1	0	423	127	0	1	12
	搬送件数	647	0	0	2	34	3	2	85	1	0	393	127	0	0	0
	搬送人員	651	0	0	2	37	3	2	85	1	0	394	127	0	0	0
10月	出動件数	801	2	0	0	37	6	8	76	1	11	517	131	0	2	10
	搬送件数	729	0	0	0	31	6	8	71	0	7	475	131	0	0	0
	搬送人員	734	0	0	0	36	6	8	71	0	7	475	131	0	0	0
11月	出動件数	761	3	0	0	58	3	3	89	1	10	462	115	0	0	17
	搬送件数	676	1	0	0	52	3	3	82	0	7	415	113	0	0	0
	搬送人員	686	1	0	0	62	3	3	82	0	7	415	113	0	0	0
12月	出動件数	823	3	0	0	33	6	2	115	2	5	506	126	0	5	20
	搬送件数	732	1	0	0	28	5	2	103	2	4	461	126	0	0	0
	搬送人員	744	1	0	0	40	5	2	103	2	4	461	126	0	0	0
合計	出動件数	9,128	50	6	6	423	93	44	1,052	9	86	5,664	1,516	0	23	156
	搬送件数	8,253	12	5	3	366	91	43	968	6	63	5,184	1,512	0	0	0
	搬送人員	8,306	13	5	3	416	91	43	968	6	63	5,185	1,513	0	0	0

図12 月別救急出動件数



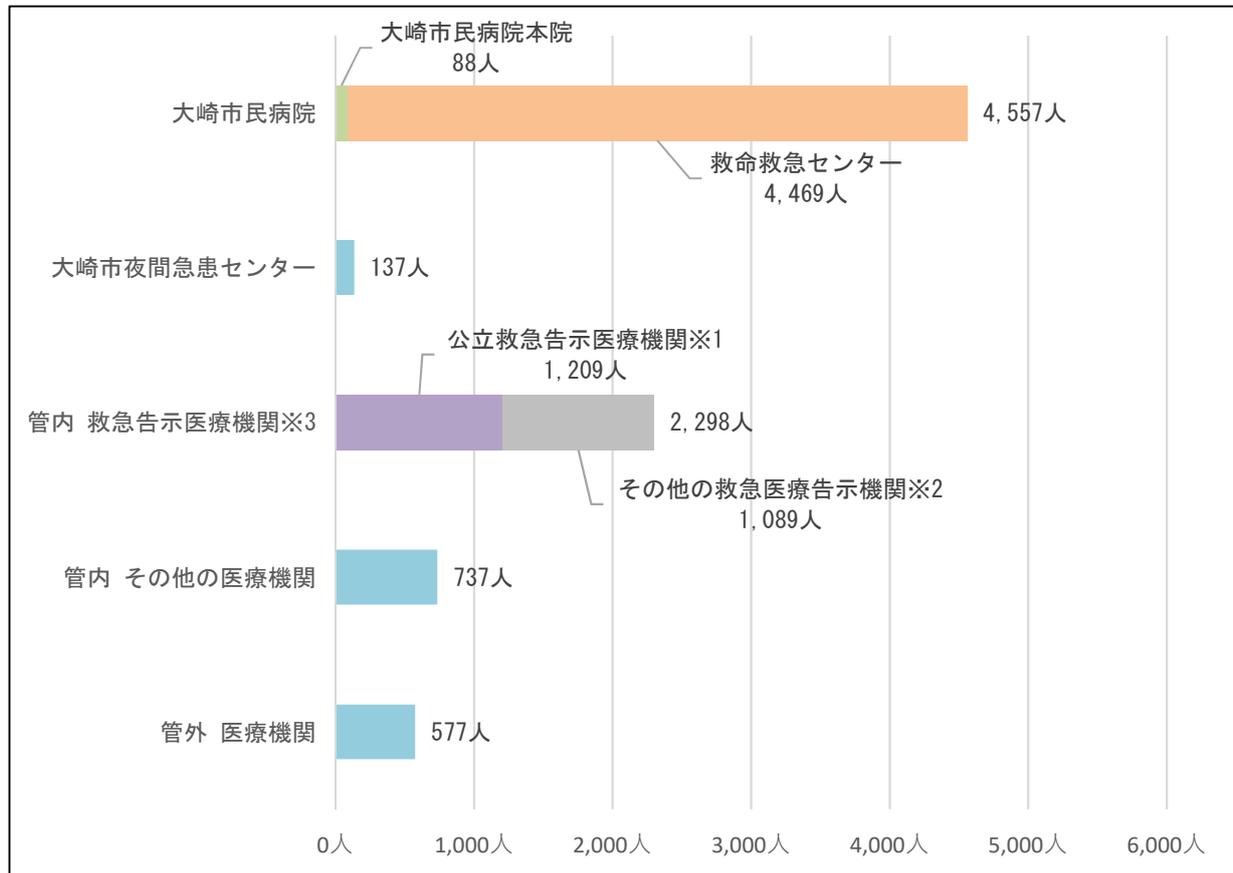
7 収容先別搬送人員状況

収容先別の搬送人員は、大崎市民病院(救命救急センター含む)が最も多い4,557人で、その割合は全搬送人員の54.86%となっています。

また、大崎市夜間急患センターへ137人が搬送されました。

大崎市民病院を除く大崎管内の救急告示医療機関には2,298人が搬送され、そのうち公立の救急告示医療機関には1,209人が搬送されました。(図13)

図13 収容先別搬送人員状況



※1 大崎市民病院鳴子温泉分院, 大崎市民病院岩出山分院, 大崎市民病院鹿島台分院, 涌谷町国民健康保険病院, 美里町立南郷病院, 公立加美病院

※2 古川民主病院, 古川星陵病院, 三浦病院, 徳永整形外科病院, みやぎ北部循環器科, 東泉堂病院

※3 救急医療告示機関「救急病院等を定める省令」(昭和39年厚生省令第8号)第1条による医療機関
令和3年10月29日現在

8 ドクターヘリ要請件数状況

令和3年における大崎消防本部のドクターヘリ要請件数は60件で、救急隊と連携し現場活動を実施しているのは43件となり、17件は救急隊の現場判断等によりキャンセルとなっています。(表9)

表9 ドクターヘリ要請件数

出動先	大崎市							色麻町	加美町			涌谷町	美里町		合計
	古川	松山	三本木	鹿島台	岩出山	鳴子	田尻		中新田	小野田	宮崎		小牛田	南郷	
現場活動	0件	0件	0件	7件	3件	14件	1件	1件	0件	1件	2件	9件	0件	5件	43件
キャンセル	0件	0件	0件	1件	0件	7件	0件	0件	0件	3件	1件	4件	0件	1件	17件
件	33件							1件	7件			13件	6件		60件

9 救急隊員の行った救急処置の状況

令和3年の搬送人員8,306人のうち、救急隊員が応急処置を行った傷病者は8,306人（搬送人員の100%）で、救急処置件数は40,235件となっています。（表10）

表10 救急隊員の行った救急処置件数

事故種別	傷病程度	応急処置対象人員	止血	固定	人工呼吸	心臓マッサージ		心肺蘇生	うち自動	酸素吸入	気道確保	経鼻エアウェイ	喉頭鏡・鉗子等	ラリントゲアルマスク等	気管挿管	保温	被覆	小計
						うち自動	うち自動											
急病	死亡	139	0	1	0	0	0	139	90	139	139	4	0	61	0	77	0	495
	重症	618	2	4	14	0	0	97	70	321	155	2	1	64	0	255	3	851
	中等症	2,854	18	38	8	0	0	0	0	497	55	0	0	0	0	978	16	1,610
	軽症	1,574	34	20	1	0	0	0	0	63	13	0	0	0	0	469	9	609
	計	5,185	54	63	23	0	0	236	160	1,020	362	6	1	125	0	1,779	28	3,565
交通事故	死亡	2	0	2	0	0	0	2	0	2	2	0	0	2	0	2	0	10
	重症	20	9	12	0	0	0	2	0	10	4	0	0	1	0	15	8	60
	中等症	182	17	142	0	0	0	0	0	18	1	0	0	0	0	58	30	266
	軽症	212	15	113	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47	27	202
	計	416	41	269	0	0	0	4	0	30	7	0	0	3	0	122	65	538
一般負傷	死亡	9	0	1	0	0	0	9	6	9	9	1	1	4	1	3	0	31
	重症	62	4	22	0	0	0	10	9	16	10	0	1	5	3	24	6	92
	中等症	517	63	140	0	0	0	0	0	28	5	0	1	0	0	165	55	456
	軽症	380	100	65	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	87	124	380
	計	968	167	228	0	0	0	19	15	56	25	1	3	9	4	279	185	959
上記以外	死亡	6	0	0	0	0	0	6	3	6	6	0	0	1	0	5	0	23
	重症	370	3	11	4	0	0	5	3	150	14	0	1	1	0	124	5	316
	中等症	1,137	20	61	1	0	0	1	1	243	6	0	1	0	0	386	16	734
	軽症	224	19	14	0	0	0	0	0	18	1	0	0	0	0	55	20	127
	計	1,737	42	86	5	0	0	12	7	417	27	0	2	2	0	570	41	1,200
合計	死亡	156	0	4	0	0	0	156	99	156	156	5	1	68	1	87	0	559
	重症	1,070	18	49	18	0	0	114	82	497	183	2	3	71	3	418	22	1,319
	中等症	4,690	118	381	9	0	0	1	1	786	67	0	2	0	0	1,587	117	3,066
	軽症	2,390	168	212	1	0	0	0	0	84	15	0	0	0	0	658	180	1,318
	計	8,306	304	646	28	0	0	271	182	1,523	421	7	6	139	4	2,750	319	6,262

事故種別	傷病程度	応急処置対象人員	在宅療法継続			ショックパントによる血圧の保持	除細動	静脈路確保(CPA前)	静脈路確保(CPA後)	薬剤投与	血糖測定	ブドウ糖投与	血圧測定	聴診器による心音・呼吸音の聴取	血中酸素飽和度の測定	心電図	伝送	その他の応急処置	小計	総計	
			※A	※B	※C																
急病	死亡	139	2	0	1	1	0	9	0	45	28	1	0	12	116	19	139	0	110	481	976
	重症	618	14	0	0	14	0	12	9	42	28	24	1	532	310	534	580	64	592	2,678	3,529
	中等症	2,854	51	0	12	39	0	0	9	0	69	9	2,800	1,037	2,850	2,471	185	2,846	12,142	13,752	
	軽症	1,574	14	1	2	11	0	0	1	0	16	9	1,505	454	1,569	1,226	62	1,569	6,363	6,972	
	計	5,185	81	1	15	65	0	21	19	87	56	110	19	4,849	1,917	4,972	4,416	311	5,117	21,664	25,229
交通事故	死亡	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2	0	1	6	16	
	重症	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	16	20	17	0	20	93	153
	中等症	182	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	180	107	182	129	0	182	782	1,048
	軽症	212	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	200	89	211	103	0	211	814	1,016
	計	416	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	400	213	413	251	0	414	1,695	2,233
一般負傷	死亡	9	0	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0	7	1	9	0	8	30	61	
	重症	62	0	0	0	0	0	3	6	4	0	0	52	24	53	41	0	59	242	334	
	中等症	517	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0	512	119	515	351	0	516	2,016	2,472	
	軽症	380	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	344	64	377	191	0	374	1,351	1,731	
	計	968	2	0	0	2	0	0	5	10	5	0	908	214	946	592	0	957	3,639	4,598	
上記以外	死亡	6	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	5	0	6	0	6	20	43	
	重症	370	1	0	0	1	0	2	2	2	0	0	356	109	366	319	25	367	1,524	1,840	
	中等症	1,137	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1,109	282	1,134	932	43	1,126	4,585	5,319	
	軽症	224	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	215	41	222	149	8	219	846	973	
	計	1,737	2	0	0	2	0	2	0	3	5	0	1,680	437	1,722	1,406	76	1,718	6,975	8,175	
合計	死亡	156	2	0	1	1	0	9	0	51	32	1	0	12	129	20	156	0	125	537	1,096
	重症	1,070	15	0	0	15	0	14	12	50	34	24	1	960	459	973	957	89	1,038	4,537	5,856
	中等症	4,690	53	0	12	41	0	0	12	0	1	70	9	4,601	1,545	4,681	3,883	228	4,670	19,525	22,591
	軽症	2,390	15	1	2	12	0	0	1	0	0	16	9	2,264	648	2,379	1,669	70	2,373	9,374	10,692
	計	8,306	85	1	15	69	0	23	25	101	67	111	19	7,837	2,781	8,053	6,665	387	8,206	33,973	40,235

在宅療法継続欄

※Aには、在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴が施されている傷病者に対して応急処置等を行った件数

※Bには、気管切開孔又は気管瘻・人工肛門等の外瘻が施されている傷病者に対して応急処置を行った件数

※Cには、※A・※B以外の在宅療法継続中の傷病者に対して応急処置を行った件数

10 PA連携出動状況

PA連携とは、消防ポンプ自動車（Pumper）が、救急要請内容により出動し、救急車（Ambulance）の活動を支援する連携活動のことで、双方の頭文字から「PA」と名前をつけたものです。

当消防本部では、平成18年2月1日から心肺機能停止傷病者等に、いち早く応急処置を行うため、直近のポンプ車が救急車より先に到着すると判断した場合、ポンプ車隊を出動させ、救急活動を支援する連携活動を行っています。

令和3年におけるPA連携出動件数は34件で前年比2件の増加となります。発生場所は、住居が26件と最も多く全出動件数の76.5%となっています。（図14・図15・図16）

図14 PA連携署所別ポンプ車出動状況

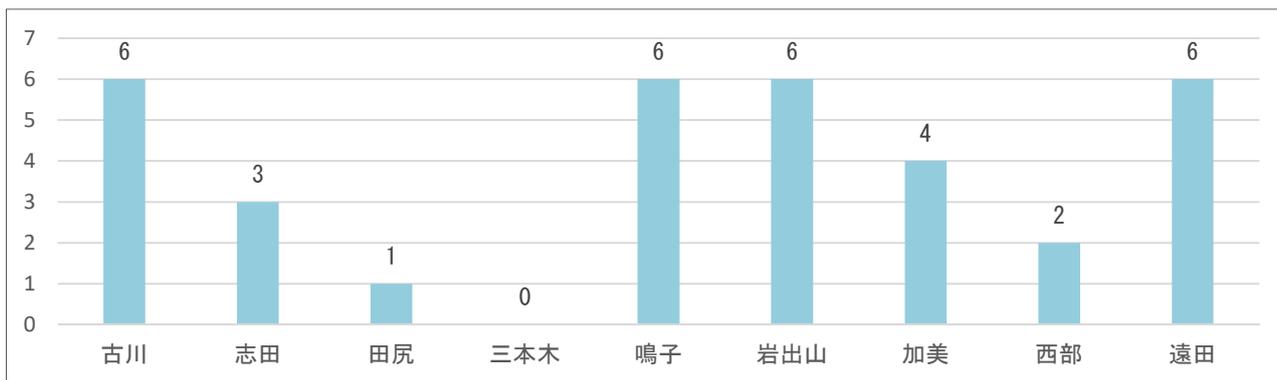


図15 PA連携発生場所

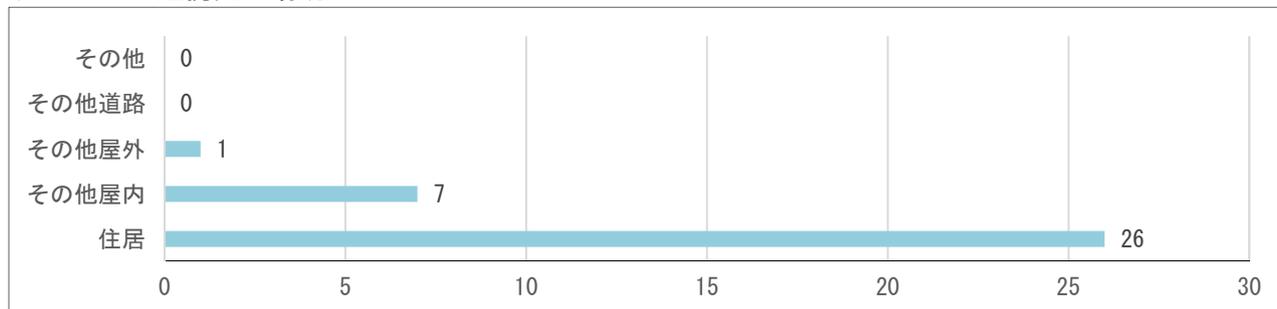
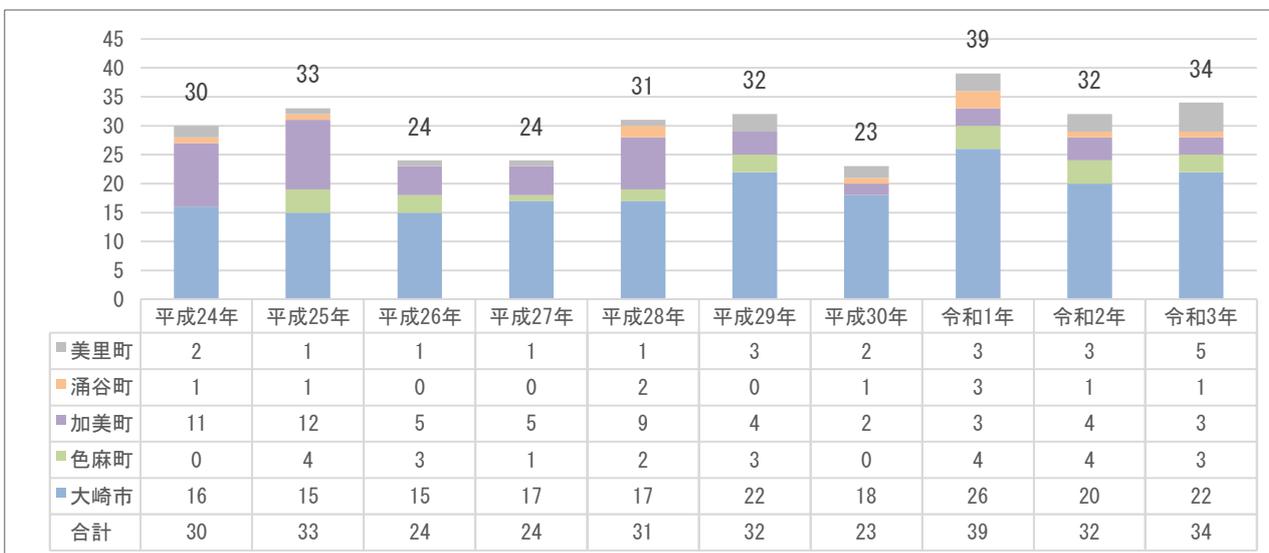


図16 過去10年間のPA連携出動件数



第3章 応急手当講習会等の概要

1 講習会の開催状況

令和3年における応急手当講習会等実施状況は、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染を避けた新しい講習スタイルにより、感染防止に留意しながらの講習となりましたが、地域住民、学校、事業所等を対象に、普通救命講習84回(963人)、救命入門コース17回(219人)、応急手当講習104回(1,777人)、合計205回を開催することができ、2,959人が受講しております。

また、令和2年から新しい講習スタイルとして、WEB講習(e-ラーニング)を導入いたしました。インターネット上で応急手当の重要性や心肺蘇生法等の知識を事前に学習していただくことで、上級救命講習及び普通救命講習の座学講習を1時間短縮することができるようになっております。

なお、新型コロナの感染拡大を防止するため、長時間となる上級救命講習会及び普及員講習会は中止としております。(表11)

表11 講習会別受講人員

種 別	開催回数	受講人員	内 容
普通救命講習会	84回	963人	心肺蘇生法(成人)・大出血時の止血等の講習 (講習時間3時間)
うちWEB講習	4回	74人	(講習時間2時間)
上級救命講習会	0回	0人	心肺蘇生法(成人・小児・乳児)・大出血時の止血・傷病者管理・外傷手当・搬送法等の講習(講習時間8時間)
普及員講習会	0回	0人	事業所・地域団体等の従業員に対して、普通救命講習を指導できるための講習 (講習時間24時間)
救命入門コース	17回	219人	対象者を小学生中高学年以上(概ね10歳以上)とし、カリキュラムは胸骨圧迫とAEDの使用法
応急手当講習会	104回	1,777人	病気・ケガ・事故等の時、医師の治療を受けるまでの簡単な応急手当の講習
合 計	205回	2,959人	

2 性別・年齢別受講者の状況

受講者の年齢構成は、10歳代が最も多く、次いで50歳代、40歳代の順となっています。

性別構成は、男性が595人（50.34%）、女性が587人（49.66%）となっています。

男女共に中高生の普通救命講習会の参加者が多い結果となりました。（表12）

表12 講習会別・性別・年齢別受講人員

種別	年齢	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	合計
	性別									
普通救命講習会	男	187	39	41	69	81	64	19	0	500
	女	182	33	41	75	67	52	13	0	463
	合計	369	72	82	144	148	116	32	0	963
上級救命講習会	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
普及員講習会	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救命入門コース	男	43	11	12	9	11	6	2	1	95
	女	49	13	12	15	22	10	3	0	124
	合計	92	24	24	24	33	16	5	1	219
合計	男	230	50	53	78	92	70	21	1	595
	女	231	46	53	90	89	62	16	0	587
	合計	461	96	106	168	181	132	37	1	1,182

3 講習会開催の推移

平成9年から開催してきた各種救命講習会の総受講者数は、令和3年までの24年間で77,017人となっています。（表13）

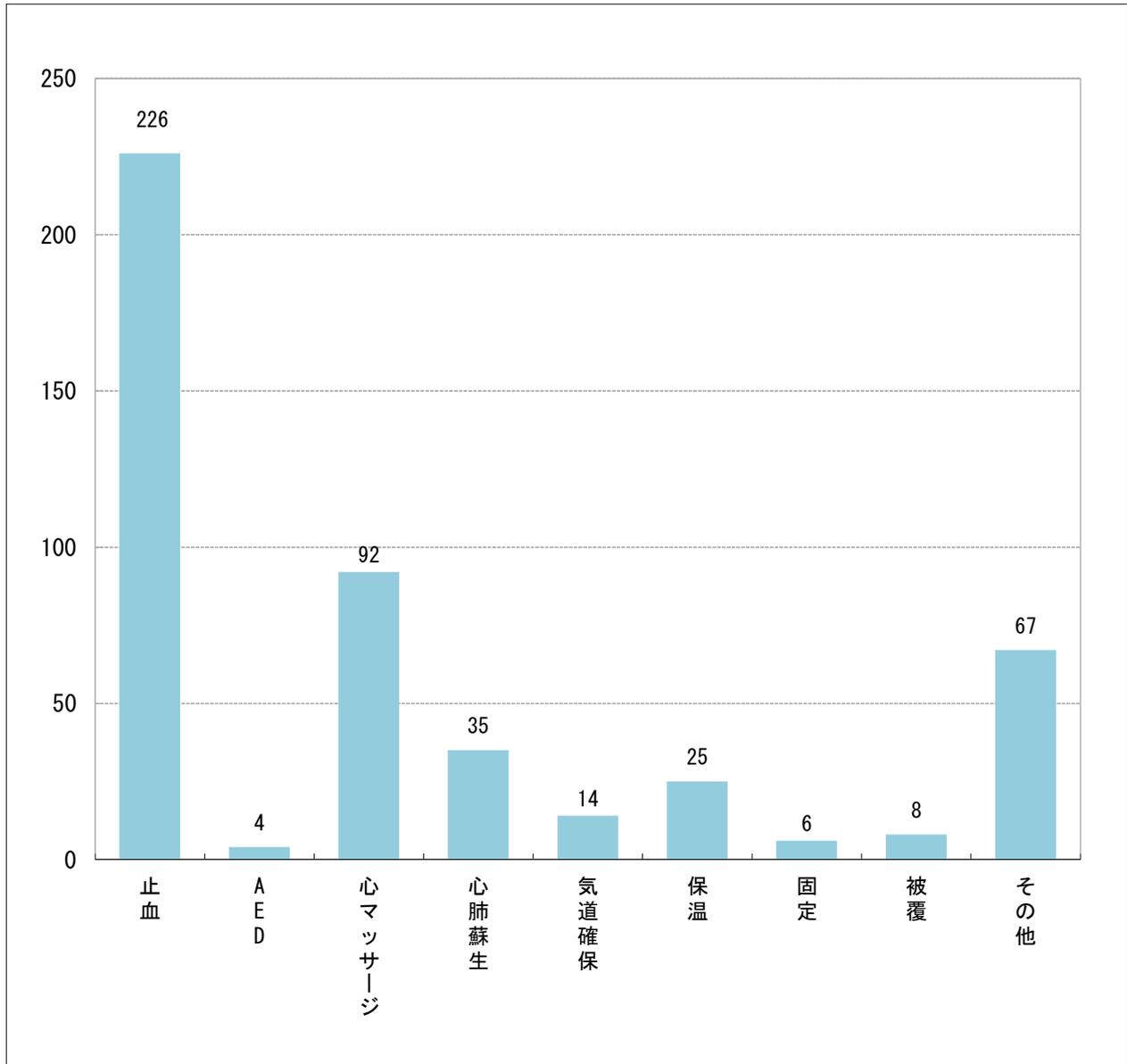
表13 講習会別開催回数・受講人員（平成9年～令和3年）

種別	年別	回数	性別		合計
			男性	女性	
普通救命講習会	平成9～21年	1,627	17,103	18,768	35,871
	平成22年	165	1,728	1,605	3,333
	平成23年	133	1,257	1,026	2,283
	平成24年	152	1,455	1,508	2,963
	平成25年	194	2,034	1,965	3,999
	平成26年	172	1,753	1,772	3,525
	平成27年	173	1,556	1,664	3,220
	平成28年	146	1,380	1,270	2,650
	平成29年	185	1,978	1,632	3,610
	平成30年	150	1,445	1,506	2,951
	令和元年	149	1,592	1,359	2,951
	令和2年	103	797	543	1,340
	令和3年	84	500	463	963
小計	3,433	34,578	35,081	69,659	
上級救命講習会	平成11～21年	63	663	1,394	2,057
	平成22年	7	68	132	200
	平成23年	8	97	82	179
	平成24年	7	54	123	177
	平成25年	5	77	64	141
	平成26年	6	47	100	147
	平成27年	7	56	96	152
	平成28年	8	88	113	201
	平成29年	6	76	92	168
	平成30年	7	47	94	141
	令和元年	5	28	80	108
	令和2年	1	8	9	17
	令和3年	0	0	0	0
小計	130	1,309	2,379	3,688	
普及員講習会	平成12～21年	12	129	196	325
	平成22年	2	7	16	23
	平成23年	1	3	3	6
	平成24年	3	8	10	18
	平成25年	1	3	3	6
	平成26年	1	3	6	9
	平成27年	2	17	2	19
	平成28年	1	5	2	7
	平成29年	1	6	2	8
	平成30年	2	2	11	13
	令和元年	1	5	4	9
	令和2年	0	0	0	0
	令和3年	0	0	0	0
小計	27	188	255	443	
救命入門コース	平成24年	1	64	71	135
	平成25年	3	52	66	118
	平成26年	8	120	143	263
	平成27年	6	125	113	238
	平成28年	9	147	170	317
	平成29年	11	206	177	383
	平成30年	9	125	118	243
	令和元年	40	452	502	954
	令和2年	22	154	203	357
	令和3年	17	95	124	219
小計	126	1,540	1,687	3,227	
合計	3,716	37,615	39,402	77,017	

4 講習会の効果

これまで実施してきた応急手当講習会等の効果として、令和3年における救急出動のうち、救急隊が傷病者のもとへ到着するまでに家族や友人、さらには傷病者の近くにいた住民等による応急手当が477件実施されました。（図16）

図16 住民の行った応急処置件数



また、救急隊が搬送した272人の心肺機能停止傷病者に対して、住民等により心肺蘇生または心マッサージが実施された傷病者は127人(46.7%)で、そのうち救急隊が傷病者を医師に引き継いだ時点で5人(3.9%)の方の心拍が再開しました。

第4章 救助統計

1 救助業務の概況

令和3年における救助出動件数は57件で前年に比べ6件増加し、救助人員は44人で前年に比べ3人増加となっています。これは、約6.4日に1件の割合で出動したことになります。地区別の出動件数は、大崎市39件、色麻町2件、加美町5件、涌谷町6件、美里町4件、高速道（管内）1件となっております。（表14、表15）

事故種別ごとでは、「交通事故」が34件と出動件数全体の59.64%を占め最も多く、続いて「建物事故」が8件（14.04%）、「その他」が8件（14.04%）となっています。（図17・図18）

表14 地区別救助出動件数前年比較（単位：件）

	大崎市	色麻町	加美町	涌谷町	美里町	管外	高速道 （管内）	高速道 （管外）	合計
令和3年	39	2	5	6	4	0	1	0	57
令和2年	34	1	6	4	5	0	1	0	51
比較	5	1	▲ 1	2	▲ 1	0	0	0	6

表15 地区別救助人員数前年比較（単位：人）

	大崎市	色麻町	加美町	涌谷町	美里町	管外	高速道 （管内）	高速道 （管外）	合計
令和3年	24	1	4	8	2	0	5	0	44
令和2年	24	1	7	5	4	0	0	0	41
比較	0	0	▲ 3	3	▲ 2	0	5	0	3

図17 種別別 救助出動件数及び搬送人員

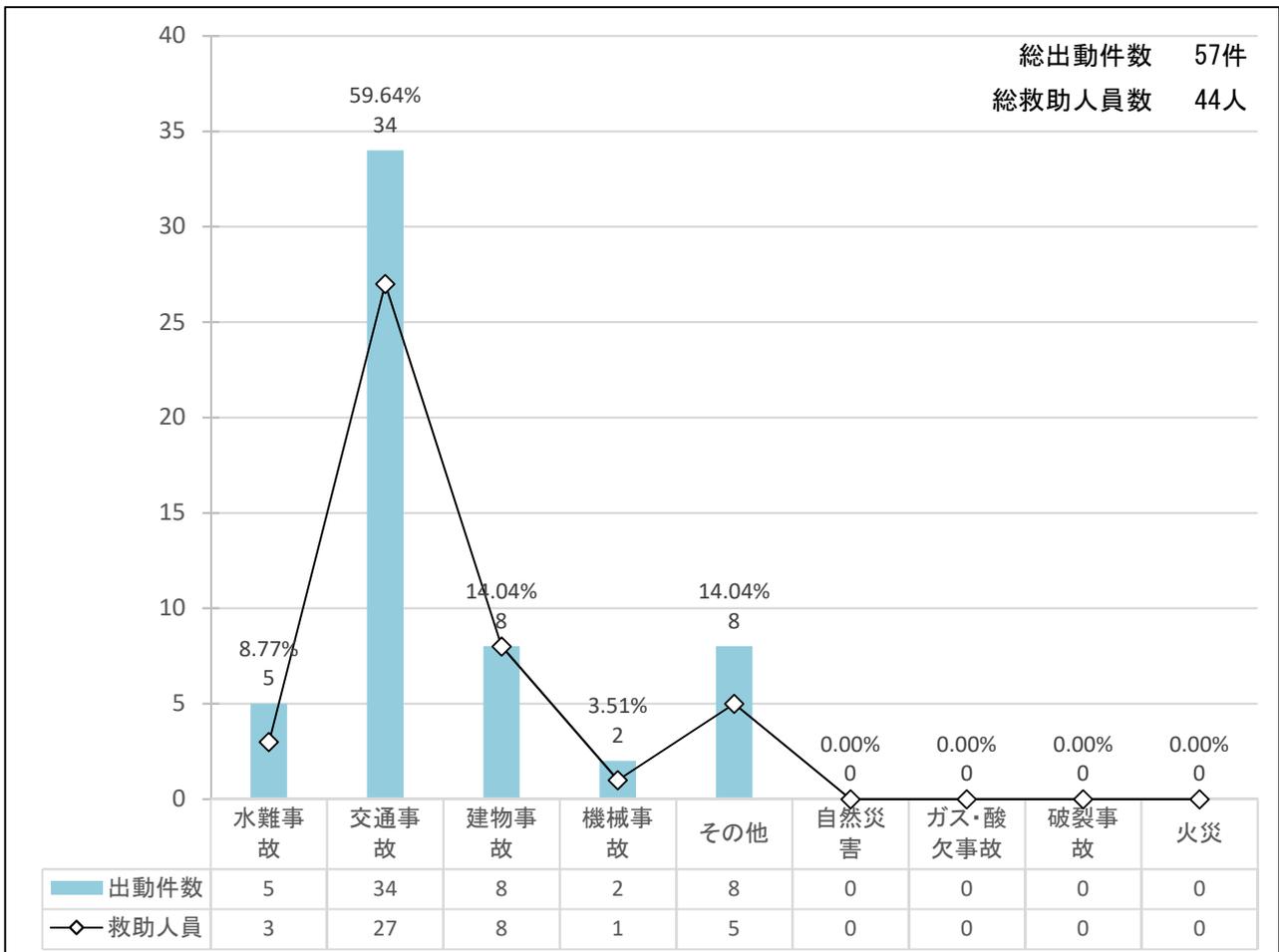
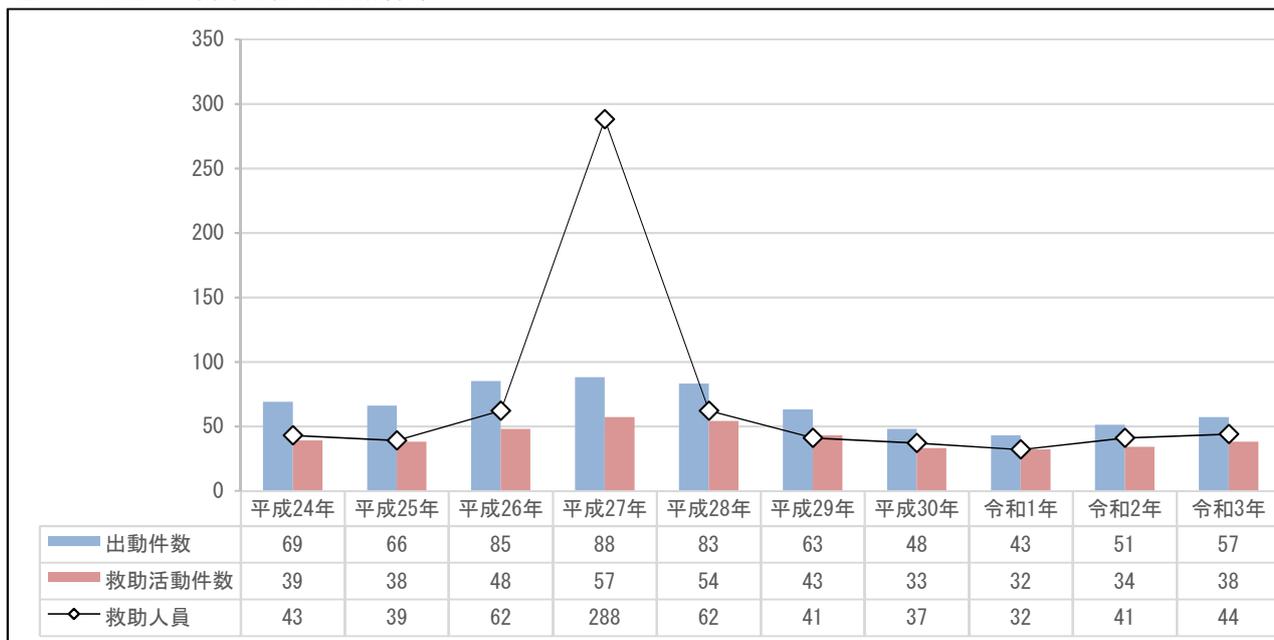


図18 過去10年間の救助出動件数



2 救助人員の傷病程度

救助事案で発生した傷病者の傷病程度は、死亡5人（前年比3人減）、重症8人（前年比4人増）、中等症14人（前年比3人減）、軽症5人（前年比3人減）、その他12人（前年比8人増）となっています。（表16）

表16 救助人員傷病程度前年比較

	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
令和3年	5	8	14	5	12	44
令和2年	8	4	17	8	4	41
比較	▲ 3	4	▲ 3	▲ 3	8	3

3 救助事案発生場所

発生場所については「その他の道路」が24件(42.11%)、次いで、「その他の屋外」が11件(19.30%)、「内水面(河川・池等)」が8件(14.04%)となっています。（図19）

図19 発生場所別出動件数

